

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	健康なると21推進事業		担当部署	健康福祉部 健康政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	健康増進法、健康日本21(第2次)	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 17年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	1	健康増進計画「健康なると21」の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	平成17年に策定した健康増進計画「健康なると21」に基づき、肥満予防や生活習慣病の予防等について、市民参加型のワークショップの開催等、計画推進のための取組みを継続し、市民の健康度をアップさせる。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	平成25年度に策定した「健康なると21(第二次)」計画に基づき、ワークショップを開催するなど計画推進にむけて取組みを行っていく。また、肥満予防に重点を置いた対策を推進していくことができるように検討をしていく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		メタボ該当者の割合	18.0	17.0	16.0	15.0	15.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①アクションプランに基づき、肥満予防ファイルの見直しについて協議を行うとともに、さらにワークショップにおいて検討を行った。 ②鳴門市の肥満の現状や、取組みについて、ワークショップ参加者の協力を得て、広報なると等で情報発信を行った。 ③徳島大学と協働でスロージョギング教室を実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ワークショップの開催回数	1	1	1	1	回
	2	ワークショップの参加人数	15	17	29	29	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>		メタボ該当者の割合	18.1	17.5	—	—	%
		目標達成率(実績/目標)		97.1	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	112	0	124	74	310
		全体予算額	0	112	0	124	74	310
		決算額	0	118	0	171	1	290
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
0.2			1,376	1,666				

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	411	290	850	850	850
	うち一般財源	144	1	579	579	579
	人件費	1,303	1,376	1,376	1,376	1,376
	総事業費	1,714	1,666	2,226	2,226	2,226

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		ワークショップを開催し、肥満予防ファイルの見直しや各団体の取り組みについて情報交換できたことは、有効であった。
	効率性	B:概ね効率的だった		担当者間で役割分担することにより、概ね効率的に推進することができた。
②成果に対する評価	指標名	メタボ該当者の割合		特定健診・保健指導の対象者だけでなく、重症化予防の対象者への訪問活動やがん検診の受診率を向上させるための取り組み等を推進したが、健康寿命はほぼ横ばいの状況である。
	目標	17.0	%	
	実績	17.5	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		ワークショップを開催することで、鳴門市の現状や各団体の取り組みの方向性を話し合えたことについて効果があった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	肥満予防ファイルの見直し、充実を図り、改訂版肥満予防ファイルの完成を目指す。 また、アクションプランをもとに、全てのライフステージにおける肥満予防対策や生活習慣病の予防対策を、より一層充実させていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	肥満予防ファイルを見直すことにより、市民が活用しやすい、改訂版肥満予防ファイルの完成を目指す。 ライフステージにおける肥満予防対策として、幼児とその保護者を対象とした運動教室や、成人を対象とした健康ジョギング教室などを開催する。			
	H28年度	肥満予防ファイルを活用し、積極的に肥満予防対策を実施する。 ライフステージにおける肥満予防対策として、運動教室や健康ジョギング教室を継続して実施する。			